



「さがみはら津久井産材」耐候性実証試験を実施します

本市では、「相模原市建築物等における木材の利用促進に関する基本方針」に基づき、公共建築物および民間建築物の木造化・木質化の推進に取り組むとともに「さがみはら津久井産材」の利用促進を図っています。

「さがみはら津久井産材」の利用拡大を図り、非住宅用建材としての活用を進めるためには、木材の耐候性に関する基礎データに加え、塗料等の対策を施した場合の耐候性についても実証データを示すことが重要だと考えています。

こうした状況を踏まえ、本市と包括連携協定を締結している（株）奥村組と共に「さがみはら津久井産材」の耐候性実証試験を開始しますのでお知らせします。

1 実証試験の概要

(1) 実施期間

令和8年4月25日からおおむね5年間

(2) 試験場所

相模原市立鳥居原ふれあいの館（緑区鳥屋1674）

(3) 試験内容

「さがみはら津久井産材」のうちスギ、ケヤキ、コナラの3種類の木材（寸法70mm×200mm）に各種塗料を塗布したものを試験片とし、日射や雨風などの自然環境にさらすことで、劣化状況や耐候性を評価します。

試験片を取り付けたパーゴラ（日陰たな）を設置し、その下にはベンチやテーブルを配置して来訪者が休憩できるようにすることで、実証試験と公共的利用の両立が図られるよう計画しています。

2 実証試験の想定する効果

「さがみはら津久井産材」の利活用の促進に本試験で得られた耐候性データも取り入れることで、本市の森林資源の保全・再生や脱炭素社会の実現に資するものと考えています。



鳥居原ふれあいの館に設置するパーゴラと試験片（※イメージ図）



【問合せ先】

森林政策課

電話 042-780-1401